

教育・文化

特別支援教育で支援の必要な子どもたちは学びやすくなったか

岩本博子議員(緑ネ) ①現状での評価と課題は。
 ②LDやADHD等の子どもに対するサポート体制は。
 ③特別支援ボランティアの概要と準備状況は。

教育長 ①組織的な支援体制が構築されたことは評価できるが、課題は教員のスキルがまだ十分ではないことである。
 ②学校支援ボランティアに個別支援等をお願いしている。
 ③個々の児童・生徒に応じた支援ができる人であると考えており、現在、研修会を開催して理解を深めてもらっている。

※LDとは
 学習障害のこと。
 ※ADHDとは
 注意欠陥多動性障害のこと。

食べ物を通じての教育の推進について

西 克彦議員(共産) ①食育の計画と実施状況は。
 ②給食事業の現場から求められている環境改善の内容は。
 ③調理職員の配置基準は。

教育長 ①平成19、20年度に六小と三中が都の食育推進研究指定校の指定を受けて現在研究、実践を行っている。また平成19年度から学務課が事務局となり、食育を実践的に取り組むための検討をしている。
 ②床等の改修、正規職員の配置等の要望がある。
 ③平成14年度から職員の退職



朝の10分間読書を推進しよう

山岸真知子議員(公明) ①朝の10分間読書の実施状況は。
 ②読み聞かせや朝読書が子どもに及ぼす影響は。
 ③全中学校に図書館協力を配置した効果は。

教育長 ①小学校18校、中学校7校で実施している。
 ②落ちついて学習を進めたり、学校生活を送ることができたという事例がある。
 ③学校図書館の開館時間がふえて使いやすくなり、貸出冊数が増加するなどした。

小平の文化振興と文化振興財団について

佐藤 充議員(共産) ①財団が指定管理者の指定を受けるに当たって改革した内容は。
 ②市民活動を支援するために財団とどう連携するのか。
 ③市と財団職員の専門性と継続

ルネこだいら

地域児童見守りシステムの今後の実施状況について

鴨打喜久男議員(政和) ①モデル校のアンケート結果は。
 ②学校以外の公共施設にカードリーダーを設置できないか。
 ③実施するに至った経過は。

教育長 ①登・下校メール配信については、モデル校2校とも回答者の90%から好意的な評価を得ている。
 ②施工条件等の調査をしており、その結果を受けて対応する予定である。
 ③一たんは実施を見合わせた

が、さらに検討した結果、市全体の調整が整ったためである。

三たびビジネス支援図書館について

永田政弘議員(政和) ①ビジネス支援図書館に対する考えは。
 ②ビジネス支援コーナーを設置しては。
 ③パソコンによる情報収集のための整備等ができないか。

教育長 ①図書館サービスのひとつとして認識している。
 ②花小金井図書館で取り組みたいと考えている。
 ③今後の検討課題としたい。

いじめや学級崩壊問題への対策について

浅倉成樹議員(公明) ①問題を解決するため、学校運営にどう取り組んでいるか。
 ②学校支援ボランティア制度の現状は。

教育長 ①学年主任等を中心に各学級における子どもの情報を共有するよう努めており、問題行動等があれば、適宜指導し是正している。
 ②数校で実際に学級に入り支援している。また教育委員会では東京学芸大学及び小金井市などの3市で連携し、社会人対象の養成講座を開催している。

心豊かな子どもたちの育成について

心豊かな子どもたちの育成について

高藤貴亮議員(フオ) ①ユニティ・スクールの課題は。
 ②ティーチングアシスタント事業の現状と成果は。
 ③各学校でのいじめ対策は。

教育長 ①継続させるための体制づくりや人材の確保である。
 ②小学校6校に配置し、学習指導の補助等をしており、落ちついた学習環境を確保できた等の効果があった。
 ③管理職が授業観察を行って実態を把握したり、生活指導研修会で教員の指導力向上等について検討している。

※ユニティ・スクールとは
 地域や保護者が参画し、学校運営に一定の権限と責任を持つて意見を述べる学校運営協議会が設置された学校のこと。

校庭芝生化やグラウンド整備にどのように取り組むのか

佐野都夫議員(政和) ①校庭芝生化の今後の予定は。
 ②ボランティアが指導を受け使用している乗用型芝刈り機と同じものを購入できないか。
 ③新たなグラウンドを整備する

べきでは。
 教育長 ①現時点では十三小の芝生化を着実に定着させることが重要と認識している。
 ②新年度にリース契約の予算を計上している。
 ③既存施設の効率的な運営や改修等により、市民スポーツの場の充実を検討していく。

医療・健康

鳥インフルエンザの人感染発生への備えについて

鳥インフルエンザの人感染発生への備えについて
 鳥川 浩議員(公明) ①事前対策計画の検討状況は。
 ②保健所との連携は。
 ③新型インフルエンザ情報をホームページで配信できないか。

肺炎球菌ワクチンの公費助成で小平の高齢者を守る

肺炎球菌ワクチンの公費助成で小平の高齢者を守る
 鳥川 浩議員(公明) ①65歳以上の高齢者の接種率は。
 ②公費助成を導入する市町村がふえているがその評価は。
 ③インフルエンザワクチンとともに接種すると大きな効果があるとのことだが評価は。

市長 ①任意接種のため把握は困難である。
 ②現時点では評価できる段階に至っていないと認識している。
 ③国の予防接種に関する検討会で予防効果等を評価するとの見解もあり、医療費抑制に一定の効果があると認識している。

特定健診は小平市医師会に
 日向美砂子議員(緑ネ) ①特定健診の開始で、健康施策全体の質が低下することはないか。
 ②特定健診と特定保健指導の実施機関は。また質の保持について具体案はあるか。
 市長 ①必要な検査項目については市独自に上乗せをして実施する予定であり、質の低下はないと考える。
 ②特定健診は小平市医師会に

公立昭和病院の救急急断りを市長はどう考えるのか

公立昭和病院の救急急断りを市長はどう考えるのか
 鴨打喜久男議員(政和) ①市長としての考えは。
 ②今後の改善策は。
 ③救急救命センターの拡大によってどのように変わるか。

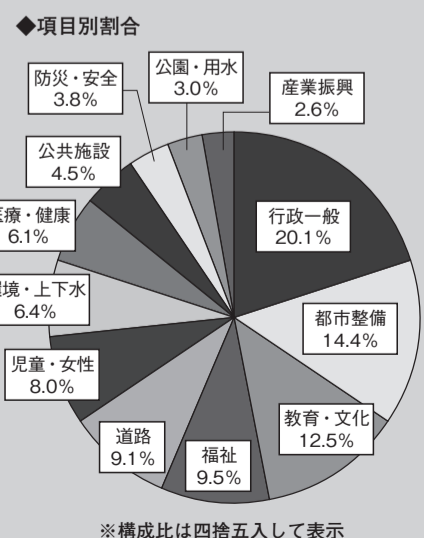
日本各地でこのようなケースが発生しており、国内の救急医療体制の現状を危惧している。
 ②昭和病院では受け入れ体制の改善を図っており、当直体制も検討していると聞いている。
 ③救命・救急処置を速やかに行うことができ、現状より若干救急患者を受け入れやすくなる

掲載分以外の質問項目

掲載分以外の質問項目
 ・ガソリン税等暫定税率廃止と小平市の影響は
 ・市がこうむった損害に対する賠償請求の考え方について
 ・環境美化事業をもっと大々的に実施できないか
 ・保育園入園待機者をゼロにする政策はあるのか

一般質問のまとめ

平成19年6月定例会～平成20年3月定例会



定例会名	質問者数	質問件数
19年 6月	24	65
19年 9月	24	64
19年12月	24	70
20年 3月	23	65
合計	95	264
平均	23.8人	66.0件

項目	件数
行政一般	53
都市整備	38
教育・文化	33
福祉	25
道路	24
児童・女性	21
環境・上下水	17
医療・健康	16
公共施設	12
防災・安全	10
公園・用水	8
産業振興	7
合計	264件